

履修年次	科・コース	教科名	科目名	単位数	履修形態
中学1年	1-1	美術	美術	2	必修

教科書	美術1（日本文教出版）
その他の教材	・感じる 表す 美術資料

目標	表現および鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。			
学習のねらい	<p>(1) 楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。</p> <p>(2) 対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。</p> <p>(3) 自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。</p>			
定期考査	期末考査のみ実施（年3回）			
評価の観点 および 評価の方法	作品および平常点（準備、提出物の状況）：75%，定期試験の成績：25%として、総合的に評価する。			
作品評価の 観点	美術への関心・意欲・ 態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて豊かに発想し、良さや美しさなどを考へ心豊かで創造的な表現の構想を練っている。	感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付け、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。	感性や想像力を働かせて、美術作品などからよさや美しさを感じ取り味わったり、美術文化を理解したりしている。
定期考査	期末考査のみ実施（年3回）			
履修上の注意	<p>[準備物]</p> <p>・教科書 ・筆記用具 ・スケッチブック ・ファイル</p> <p>・アクリルガッシュ、用品一式</p>			

桜の聖母学院中学校・高等学校 H29(2017/18)年間指導計画

期	月	学習項目・学習内容	テストと評価
1 学期	4 月	美術との出会い オリエンテーション [B鑑賞] ・授業を受ける上での準備物や留意事項と「美術」における創造活動の深まりを理解する。	作品および平常点 【一学期期末考査】
	5 月	鉛筆で描く [A表現(1)] ・光と影の関係を観察し、鉛筆の硬軟を使い分けながら陰影表現で描こうとする。 ・線描表現と陰影表現の違いを理解することができる。	
	6 月	色の世界 [A表現(3)] ・色の三属性、三原色などの色彩に関する基礎知識を把握し、意図に応じて混色することができる。	
	7 月	・アクリルガッシュの特性と使用方法を理解できる。 ・筆を使い分けながら丁寧な彩色ができる。	
夏期休業			
2 学期	9 月	文字のかたち [A表現(1)] ・ゴシック体・明朝体の字形を理解することができる。 ・漢字の持つイメージに合わせて形を構想することができる。	作品および平常点 【二学期期末考査】
	10 月	美術館の役割 [B鑑賞] ・社会における美術館の役割を理解できる。	
	11 月	箸置きをつくる [A表現(2)] ・生活の中で使用できる物の形を工夫することができる。 ・粘土の扱い方や立体感の表現方法を理解できる。	
	12 月		
冬季休業			
3 学期	1 月	遠近法の理解 [A表現(2)] [B鑑賞] ・一点透視図法、二点透視図法が理解できる。 ・丁寧に作図することができる	作品および平常点 【学年末考査】
	2 月		
	3 月		
春季休業			